



2013. 9. 22 No.53

結

yui

発行「憲法9条の会つくば」
〒305-0005
つくば市天久保 1-10-12 1-401
TEL.080-5888-7824
Fax 029-856-2286



<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>

2013年10月4日(金)
カピオホールにて



8周年記念のつどい開催!



今こそ憲法を輝かせ、
平和といのちを守る社会へ!

昨年12月の衆議院選挙、さらには今年7月の参議院選挙の結果、日本国憲法を取り巻く状況が大きく変わりました。憲法九条の会呼びかけ人の大江さん、澤地さんが繰り返し訴えているように、戦後、今ほど日本国憲法が危機にさらされたことはなく、今ほど国民主権・民主主義・平和を希求して策定された現憲法を守り・育てる活動が重要なときはないと思います。

安倍政権は、憲法9条を変え、国防軍の下で日本を「戦争のできる国」に転換することを目指しています。しかし、憲法9条を変えることに国民の支持はなく、安倍政権は、三つの新しい動きを見せています。その一つが、憲法改正手続きを定めた憲法96条の改変、改憲発議を衆参各議会議員の過半数でできるように変えようとしていること、二つ目は、集団的自衛権を認めさせるため「国家安全保障基本法」を制定しようとしていること、そして三つ目は、内閣法制局長官の首を挿げ替え、集団的自衛権の行使が可能になるように解釈改憲を目論んでいることです。

こうした安倍政権の動きにストップをかけるべく、憲法9条の会つくばは「設立8周年記念のつどい」を開催致します。



沖縄からいのちの重さ伝えたい

当日は14:00~プレ企画として沖縄のドキュメンタリー映画「教えられなかった戦争・沖縄編~阿波根昌鴻・伊江島の戦い」を、18:20~のつどいでは1フィート運動の映像と戦争体験者の証言でつづるドキュメンタリー「沖縄戦の証言」を上映します。

ピースコンサート



ドキュメンタリー上映後、筑波大学のアカペラサークルDoo-wopさん、共同代表・堀部一寿さんによるピースコンサートを開催し、会場の参加者と共に歌う企画もあります。

ホールでの企画修了後は、ホワイエにて9条カフェを開催、これからどのように活動を広げていくか、ご参加の皆さまと語り合う機会を持つことに致しました。

8周年のつどいに是非ご参加くださいますようよろしくお願い致します。同封させて頂いたチラシを広めて頂き、友人・知人や隣近所の方々にも声を掛け、一緒にお出掛け下さいますようお願い申し上げます。
(実行委員会事務局・長田満江)



今やらねば

——会活動の質的發展を



◆参院選の結果は

7月の参議院選挙は与党の圧勝のうえ、野党でも改憲勢力が一定勢力を維持し、憲法を護るにはまさに国民多数の声の盛り上がりだけが頼りの状況になりました。

与党の圧勝といっても、投票で積極的に自民党を支持したのは有権者のたった2割であり、議席数で与党が圧倒的多数を占めた結果に対しては、多くの国民が危険を感じています。しかも景気の好転というムードだけで集めた支持なのに、首相が改憲意欲を繰り返すことに対応して、自民党の改憲案への批判的な報道も見られるようになっていきます。また、安倍内閣の極右的性格が米国においてさえ警戒されていることが、なさけない話ですが、逆に日本国民にも冷めた目を与えているようです。

◆様子を見ている場合では

しかし、世論は短期間でどうにでも変わります。自民党の改憲案などは、これから大幅に譲歩して9条のみは変えるため切りしろをたくさん用意したのではないかと、消費税の実施も今後ほんの少し延期や緩和をして支持を増やすねらいがあるのではないかと、などのことを考えると、一時の油断もなりません。

◆どんな議論をすれば？

国民の間に戦争の記憶が薄れ、それを補う活動が国として行われていない現実があります。また、戦争体験を聴くだけでは、現代の問題に対する十分な答えになっていないのも事実でしょう。「海を越えて一方的にミサイルを撃ち込まれても戦争しないのか」、「外国軍が来て島を占拠されても戦争しないのか」などの問いにどう答えますか。おそらく本会の賛同人の皆様でも実にさまざまな答え方になるはずで、しかし、どのような答え方をするとせよ結論は「9条は変えない」ですね。「もし9条がなければ…」と考えてみれば明らかでしょう。憲法前文にもあるとおり、「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ること」があつてはなりません。

◆活動としてできることを、もっと

戦争は悲惨だというだけでなく、戦争はどのようにして起きるのか、起きるだけでなく泥沼化していくのか、そのようなことを一体的に学ぶことが大切です。しかしまるで戦争を知らない世代にはそうした意識は希薄です。本会はその人たちに学びの材料を、もっともっと効率的に提供していければと思います。会の会合や「結」の誌上で、どのような材料が良いか、どのような方法が良いかが活発に話し合われ、多くの賛同人に可能な無理のない方法で、会の活動を一段と広げていけるよう期待します。

(吉門 洋 憲法9条の会つくば共同代表)

行動予定

- 10月4日(金) 8周年記念のつどい カピオホール
- 6日(日) 定例署名12:00～アルス前
- 9日(水) 9の日署名12:00～西武前
- 16日(水) 事務局会議(時間・場所未定)
- 11月3日(日) 定例署名12:00～アルス前
- 9日(土) 9の日署名(時間未定)西武前
- 17日(日) 定例世話人会 10:00～並木交流センター(予定)「結」54号発行



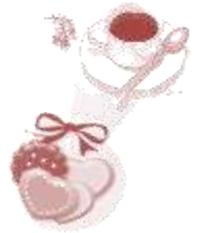
平和とアートの旅2013 のお知らせ♪

今年の平和とアートの旅は、
11月23日(土)丸木美術館
と川越散策の旅を企画しております。詳しいお問い合わせ、お申し込みは事務局担当までご連絡ください。TEL029-858-1597
(穂積) TEL080-5888-7824(事務局)





前号の結で小森講演会後の9条カフェでの参加者の皆様のご意見を簡単に報告しましたが、小森さんの講演の続きともいえる内容もあったことから、今回再度まとめと報告をさせていただきます。文中質問者のお名前はイニシャルにさせていただきます。



- ◆は参加者の発言まとめ
- ◆ラジオで1週間くらい前に聞いたが、憲法関係の本が最近よく店頭にてているようだ。コンビニなどにあると若い人が手に取りやすいのでは。自分が中学生の時「新しい憲法の話」という副読本が文部省からでたが、とても分かりやすい本だった。現在復刻版が出ているので（若い人に）読んでほしい。（Sさん・男性）
- ◆最近の若い人たちは憲法について学校できちんと習っていないのではないか。私自身は原発問題と憲法問題は一体のもので分けることはできない、と考えているが脱原発の活動をしている若い人たちは原発だけの1つの課題（シングル・イシュー）で取り組むほうが力強い運動ができるという。小森先生が話されたように若い人たちとじっくり語り合える場所をつくることを改めてやっていかねばならない。（Oさん・女性）

【小森先生】

日本国憲法は1946年11月3日に大日本国憲法の改正という形で昭和天皇から公布されている。昭和天皇自ら、自分は象徴で陸・海・空軍は持たない、と宣言したことで戦犯としての訴追を免れようとした。そのため天皇について定めた第1条～第8条のすぐ後に第9条（戦争の放棄）がくる。このあたりの事情は小森著『天皇の玉音放送』という書物に詳しい（朝日新聞社出版）。

また、憲法が国家権力を縛るための最高法規だということが、小中高で正しく教えられていない。これは大学が学生にそのように教育しないからだ。若い人の憲法離れについてよくいわれるが、若い人を一般化せず、まず自分の子どもや孫に対して憲法を語ってほしい。家族として憲法談義ができていくかどうか。子や孫に理解される活動をしているかどうか大事です。

- ◆つくば市は国立公文書館など社会科学の施設もある。科学技術関係省庁や文部科学省と直結している機関が集まっており、いろいろな情報も入ってくると思う。原発事故関係ではアメリカからの情報もきているのではないか。そういった情報を9条の運動にも活かしていけるのではないか。（氏名不明・男性）
- ◆アメリカとの関係で言えば、他方本願かもしれないが、従軍慰安婦問題などとも関連して、アメリカにも憲法9条改悪を危惧する勢力があるのでは

ないか。その辺りをお聞きしたい。（Fさん・男性）

【小森先生】

アメリカとの関係で言えば、第二次世界大戦の終わりが核戦争の始まりだったということだ。1953年12月8日の国連総会でのアイゼンハワーの演説“Atoms for Peace”は普通「原子力の平和利用」と言われているが、核兵器（2個の原爆）が平和のために使われたという意味（戦争終結についてのアメリカの言い分）も含まれている。これを受けて中曽根康弘が最初の原子力予算をつけた。戦後日本で原子力発電を許してしまった背景にアメリカとのどのような緊密な関係があったのかをよくみななければいけない。もし今後アメリカで協力できる勢力があれば、在米韓国人のグループだろうか。

- ◆今アメリカの話があったので一言。経済も含めて日本をアメリカに売り渡そうとしている人達がいるのは分かったが、彼らは一体どんな利益があってそういうことをしているのか、お聞かせ下さい。（前述Sさん・男性）

【小森先生】

安倍晋三氏は、父方に戦時中大政翼賛会にも属さず衆議院議員を務めた安倍寛という立派な祖父を持ちながら、その人を尊敬しないで母方の祖父で戦争犯罪人である岸信介を崇拜している。9条呼びかけ人の三木睦子さんはそのことに憤慨しておられた。日本で世襲政治家になるためには、アメリカが認めなければいけない。アメリカの飼い犬（ポチ）でなければ生きていけない。小泉元首相もそうだ。その証拠として、アメリカに断わりなしに1972年に日中国交回復をしてしまった田中角栄氏はアメリカから駄目だしをされ、ロッキード事件で政界から追放された。日本の検察、特捜はそういうところで動いている。この流れは田中派支流である小沢一郎氏まで来ている。

しかし、安倍政権は、従軍慰安婦はなかった、侵略戦争ではなかった、と言い出した。するとアメリカが日本を占領したのは間違いだったということになり、アメリカが許せるキャパを越えてしまう。そういう矛盾も今の安倍政権は抱えている。



- ◆現在アメリカのポチになっている取（次頁へ→）

り巻きが、官僚・大企業家・大学教授と一杯いるわけだ。60年安保当時私は学生で、日本は自主的で独立していなければいけない、という思いで運動したが、現在は当時の構造がより深化した形で進んでいる。憲法9条を掲げる私たちは日本をどういう国にしていけるのかを考えなければならないという想いでお話を聞いた。(前述Sさん)

◆30代の主婦です。今日の資料の中にママ友3人で作った憲法チラシを入れていただいた。ユーモアを交えた「こわくない」チラシを同年代やもっと若い人たちに読んでもらいたいと今回3種類作った。特に憲法チラシは不動産広告の情報をまねて、「今までの住みやすい日本が変わっていく？」という内容にした。市内の小児科やカフェ、店舗など若い人たちが多く行きそうなところに置いてもらっている。特定の政党を批判したり、応援するような内容ではないので選挙期間でも配布はOKです。これを見て一人でも多

くの若い人が投票に行ってくれるとうれしい。(Kさん・女性)



かーさん+(プラス)さんの
怖くない憲法チラシから

<編集担当より>

この文章は、講演会当日の録音及びメモを元に作成しました。一部録音状態が悪く、文章化できない部分があったこと、また発言内容を一部省略させて頂いた部分があることをご了承頂きたいと思います。

(文責・穂積、三浦)



憲法の伝道師：伊藤真さんの講演から

特別企画ビックてい談：いのち・平和・ことば

第59回日本母親大会は、8月24日(土)、25日(日)の両日にわたって、まだ残暑厳しい首都圏で開催された。24日の全体会。幕張メッセ・イベントホールは7000人の収容予定のところ、8000人近い参加者が集まり、舞台裏にも座席を確保したという。

熱気に包まれた会場に登場した講師の伊藤真さんは自らを「憲法の伝道師」と紹介、憲法は国に人権を守るためのもの、権力を縛って国民を守るためのものであり、それに反する安倍政権を厳しく批判。こうした政権に対抗するには、人権が抑圧される前に権力の意図を見破るよう、国民は想像力の射程を広げ、共感力を持つことが大事、と訴えた。特に安倍政権が国防軍を主張している点について、それは人殺しを目的とする軍を持つことになり、日本社会を変質させ、戦争につながることになるという警告、戦争の悲惨さ、残酷さを考える想像力を持つことが憲法を守ることにつながる、と訴えた。

さらに、憲法の中の理想を実現するには時間がかかるのであり、それは市民的連帯で実現しよう呼び掛けた。最後に、市民の連帯活動は、微力ではあるが、無力ではなく、明日の社会は、私たちが生きる今日の社会が作ることを確信し、理想に向かって、「あわてず、あせらず、あきらめず」に頑張っていこう、と呼び掛けて講演を終えた。(長田)

25日の分科会は日比谷公会堂で行われたビックてい談、つくばではお馴染みの小森陽一さん、アーサー・ピナードさんに加え、詩人の木坂涼さんを迎えたビックな企画に1000人を越える人々が集まった。

メディアから流される権力を擁護するための情報をどう見抜くか?の話題では、日常の中にちりばめられた「だまし言葉」への注意が指摘された。原発の「再稼働」を「運転再開」に言い換え、「水道水」や「天然水」など3文字の水の名称になぞられ違和感をなくそうとしている言葉「汚染水」、「戦争が勃発する」の「勃発」、戦争は周到に準備されて始まるもので突然「勃発」はしない、嘘やペテンが潜んでいると話され、シリアの問題も数年周期で戦争を始めたいアメリカがきっかけを作るために問題にしているのでは?という疑問が湧いてきた。

教会の鐘まで集めて大砲を造らせ、それを撃つとキンコンカンと鐘の音が鳴り響く『キンコンカン戦争』、ベルギーのブリュッセルにある銅像「小便小僧」をモデルにした『おしっこぼうや』はおしっこをかけて戦争をやめさせた男の子の話、平和の願いが込められた物語について話されたことも印象的だった。(塩川)

「あなたは今日も」 (木坂涼『どこへ』から)

あなたは今日も／憲法九条とすれ違った／
そして／互いに／ちいさな会釈を交わした

当会では第1日曜日に定例署名行動、9日に西武前で9の日署名を行なっています。8月4日、9月1日アルス前にて、9月9日には9999行動と共に西武前で9の日署名を行ないました。皆さまのご参加お待ちしております。

「憲法9条の会つくば」の活動から



◆賛同人 2013年9月9日現在
総数 885名 (市内 628名)
◆9条署名 9月9日現在 14,631筆

定例・9の日 署名

▼8月4日定例署名：先の参議院選挙では、残念ながら自民党をはじめ9条改憲派議員が多数を占める結果となりました。8月の定例署名行動の参加者は、前月から参加して下さっている青年のSさんと高齢者2名、お馴染みの荒牧さんがライブで参加して下さい、計4名の参加でした。お隣、中央公園の「つくいち」も夏休みが影響してか、あまり人が出ていない様子。署名数は22筆でした。荒牧さんのライブに惹かれ、立ち寄り下さる方が多かったように感じました。ライブの投げ銭も2000円もあり、会へカンパして下さいました。署名は決断できないけれども、9条については良く考えてみますと真面目に対応して下さいました40代の男性、印象に残りました。(武田)

▼9月1日定例署名：背の高い青年、歌手、演奏家、署名担当の4名参加、子どもたちや親御さんたちからの歌のリクエストがあり、歌の中での署名で、退屈しなかった。Sさんは相変わらず、静かで粘り強い対話で署名を集めていました。荒牧さんからカンパも寄せられました。みなさんたいへんご苦労様でした。(樋田)

▼9999行動と9の日署名：毎年9月9日9時9分に「9条を活かし、守ろう！」と訴える9999行動を今年もつくば駅改札前で行ないました。アメリカ人Aさん他3名が参加、8周年のつどいチラシを入れた9条テッシュを200個配りました。その後の9の日署名も西武前で行ない、9条を変えない署名と東海第二原発廃炉署名(宛名は橋本知事変わらず残念)を訴えました。

前の広島を想像するに、その過酷さ残酷さは私の領域を越えているとわかっていながらも、鐘を突きながら涙が出そうになりました。命を守ろう！平和な世の中に！改めて、憲法9条をかみしめました。(浅野洋子)

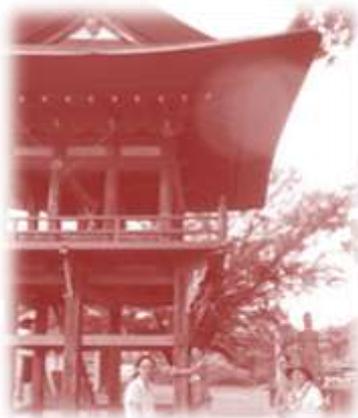
▼2013めぐみ教会「平和の鐘」集会：私の所属する自由ヶ丘めぐみ教会で、広島、長崎に原爆が投下された日に『平和の鐘』集会が、信者以外の平和を願う方々も加わって開かれることは喜ばしいことです。今年で4回目、8月の行事として定着してきました。つくば市在住の鶴文乃さんが呼びかけた「平和の鐘」一振り運動に当教会も協力し、この両日、原爆投下時刻に合わせ、平和への祈りをこめて鐘を鳴らします。キリスト教会は人々の祝福、すなわち平和と幸福を願って置かれております。神を信じる者も信じない者も平和の一点で集うのがこの集会です。今年は6日に荃崎9条の会の伊藤政人さんが、ご自分と平和憲法との関わりを、また、9日には「9条つくば」の樋田幸夫さんが改憲の危うい動きについて、それぞれお話されました。樋田さんの憲法で一番重要な部分はこの質問、「前文」ですよと言われ、目から鱗。また、憲法には生存権(25条)の他に「幸福に生きる権利」(幸福追求権、13条)もあるとの話も新鮮でした。集会が終わってスイトンを頂きながらの雑談で話された「苦手な相手とこそ、進んで対話を。これを避けたら9条は守れない」との発言も心に残りました。(自由ヶ丘 K.M)

平和の鐘 一振り運動 2013

“打ち鳴らそう、世界の鐘を！毎年8月9日に”長崎の原爆で自らも被災し、父と兄を失ったつくば市に住む一人の主婦が呼びかけた「平和の鐘」

一振り運動が、国内各地だけでなく、アメリカをはじめ欧州、南米、アジア諸国にも広がりを見せています。今年もつくばでは8月6日、9日に北斗寺さんで鐘をつかせて頂き、めぐみ教会さんで平和のためのミサが行なわれました。

▼北斗寺：追悼の鐘突きには初めて参加しました。8月6日、今年は朝からとても暑い日になりました。68年



8月18日(日) こむせん市

お盆休みの最終日、灼熱のセンター広場で、こむせん市が開かれました。

9条の会テントでは本格ベンガルカレーの他、冷たい飲み物を販売、ジャムファクトリーさんにスコーンと季節のジャムを出品頂き、バザー品と共にテントを賑わしました。とにかく暑い暑い猛暑日！目が眩むような強い日差しの中、ステージでは様々なパフォーマンスが繰り広げられるものの通りかかる市民の姿はほとんどない状態…高温注意報の中、屋外のイベントに出かける人はなかなかいないようです。

そんな中、8周年のつどいに出演予定の筑波大学アカペラグループ Doo-wop のメンバーにカレーをふるまい、若手賛同人Sさんが宮崎駿さんの憲法擁護メッセージについて学生達と語り合い、荒牧さんがライブで署名行動に参加頂くなど、ご協力頂きました。暑い中ご参加頂いた皆さま本当にお疲れ様でした！(事務局)



遺言としての映画「風立ちぬ」

スタジオジブリ「熱風」憲法改正特集と映画「風立ちぬ」

9月6日の会見で、宮崎駿は引退を表明した。つまり長編アニメーションは「風立ちぬ」が最後となり「遺言」ともいえる作品となる。

ゼロ戦設計者として知られる堀越二郎と、同時代に生きた文学者・堀辰雄の人生をモデルに生み出された。関東大震災や経済不況に見舞われ、戦争へと突入していく1920年代という時代に、主人公の青年技師・二郎の半生を描いている。青年を主人公にした戦争と恋愛を対比した物語、しかも等身大であることなどこれまでの作品とは全く違うものだ。

遺言として沢山のプロットから、ここでは「反戦」を取り上げてみたい。映画を見終わると、反戦という立場から、もう少し具体的に描くべきではなかったか？という思いが残る。映画公開に先立ちジブリの小雑誌『熱風』7月号での憲法改正特集を組んでいることから、強いメッセージがでるのかという期待もあった。しかし、映画は反戦のメッセージをむしろ出さない様に描いている。だからこそ「憲法を変えるなどもつてのほか」というメッセージが「風立ちぬ」の伏線として明確に発信されたのではないか。そのせいで映画は自由度を増し、戦争という時代背景を超える「生き方」を示している。どのような時代に遭遇しようとも「自由に生きよ」というメッセージを。

『ジブリよ永遠なれ』もありゃしないです」という自らの言葉からも伺える様に、「将来の希望とかではなく。今やっている仕事がおもしろいとか、友人とホッとするいい時間を持つだとか、好きな亭主の顔見たら



うれしいとか、これから、人はそういうことで生きていけないといけな。将来の保証なんか無い。でも、本来人間はそうして生きて来たんです」という日常から考え直すメッセージとして受け止めることができる。

「自由に生きよ」といわれても「自由に生きる」ことができない人々はどうするのか？この当たり前な問いに映画「風立ちぬ」だけでは十分に答えることができていないように感じる。それは、菜穂子（節子）の病にあっては日々を愛する人と向き合った生き方と「憲法を変えるなどもつてのほか」を合わせて表現することが、今必要であるということの証明ではないか。（野口修）

8.11 関東・福島
憲法フォークジャンボリー

8月11日（日）、東海村文化センターにて開催された「8.11 関東・福島憲法フォークジャンボリー」は福島や関東各県から16団体が出演。特別参加は福井県から武生センター合唱団、ゲストは笠木透と雑花塾。10時から17時頃まで充実した内容となりました。

私が一番感動したのは、武生合唱団による「海の軌跡」でした。原発銀座と言われる福井県で、30年前に原発建設に反対して創られた組曲ですが、その後歌われなくなっていたものを、3.11以降、武生合唱団で「原発がなくなる日まで歌い続けよう」と、再演されています。

「若狭には娘を嫁にやるな」と言われたこと、子どもを案ずる母の思い、原発下請け労働者の実態など、どれも感動的な曲で素晴らしい演奏でした。（佐藤良子）

渡辺治さん講演会
小森陽一さん講演会 録音CDお分けします！

価格は500円+送料。ご希望の方は事務局まで。

TEL080-5888-7824 Fax 029-856-2286

インフォメーション

◇生誕130年・野口雨情 童謡コンサート in 牛久

日時：9月23日（祝・月）14:00～16:45
場所：牛久中央生涯学習センター・文化ホール
内容：お話と朗読（野口不二子）童謡合唱（アルテファミリ合唱団+堀部一寿）その他
入場料：一般前売り2500円（当日2700円）小・中学生1000円（当日1200円）
連絡先：Ai MADOKA 080-2268-7788

◇憲法9条牛久の会7周年記念のつどい

今と未来を語ろう！ 雨宮処凛さんと
歌で元気にオープニング！橋本実さんのギターで
日時：10月5日（土）13:30～16:00（開場13:00）
場所：牛久中央生涯学習センター・多目的ホール
資料代：500円（学生・障がい者は無料）
連絡先：029-872-2707 <http://www.9jo-ushiku.org/>

◇九条の会事務局学習「戦争する国」への暴走を止める

日時：10月6日（日）13:40～16:40（開場13:20）
場所：東京しごとセンター地下講堂（東京都千代田区飯田

橋3-10-3）参加費1000円

講演Ⅰ「沖縄の視点から見た安保・憲法の現状」前泊博盛さん（沖縄国際大学大学院教授）講演Ⅱ「解釈改憲から憲法全体の改変へ—安倍政権の改憲の新たな戦略に立ち向かう」渡辺治さん（一橋大学名誉教授）
参加申込：メールかFaxで、参加者お一人ずつのお名前と電話・Fax番号を下記九条の会事務局へ
連絡先：九条の会事務局 Eメールmail@9jounokai.jp
Fax03-3221-5076 Tel103-3221-5075

◇筑波の研究所・大学関係9条の会

第15回講演と対話のつどい

日時：10月27日（日）13:30～16:30
場所：大穂交流センター・視聴覚室
テーマ：「安倍政権下の憲法の危機—集团的自衛権論を中心に」

講師：浦田一郎氏（明治大学法学部教授）

話題提供3名予定

連絡先：029-847-3884（安田）